

- 02 人形遣い吉田一輔がご案内 文楽入門
- 03 知って得するコミュニケーション
- 04.05 1月～3月 イベントインフォメーション
- 06 1月～3月の主催事業ピックアップ
- 07 カルレク! ～気軽に楽しむ文化のレクチャー～
- 08 ぐるり となりのカルチャー



三位一体が織りなす 技の世界

特集1 **文楽入門**



曾根崎心中 — 天満屋の段

……お初が死ぬ覚悟を足で問いかけ、縁の下に隠れる徳兵衛が、その足に喉元を置き返答する、二人が心中を決意する名場面です。



特集2

知って得する

コミュニケーション

特集
1

人形遣い吉田一輔がご案内

文楽入門

今回の特集では、文楽三業の一つ【人形遣い】をクローズアップ!!
10月名古屋公演「桂川連理柵」で、お半の人形を遣われた公演直後の
人形遣い 吉田一輔さんを訪ねてお話を伺いました。



人形浄瑠璃文楽とは・・・

物語を語る「太夫(たゆう)」、情景を三味線で奏でる「三味線(しゃみせん)(弾き)」、一体の人形を三人で遣う「人形(にんぎょう)(遣い)」の三業それぞれの技が舞台上で融合して成り立つ舞台芸術です。「人形浄瑠璃文楽」と言うと堅苦しく聞こえますが、実は「大人のための人形劇」。作品では人間の普遍的な心底を表現し続けています。

人形遣いとは・・・

頭・顔にあたるかしらと右手を操作する「主遣い(おもつかい)」、左手を操作する「左遣い(ひだりつかい)」、足を動かす「足遣い(あしつかい)」の3人で一体の人形を操ります。一般的には、足遣い、左遣いをそれぞれ10年以上経験して主遣いになります。



ツカ
ズカイ
人形遣いの図解

私は主遣い。左手で人形の頭、右手で人形の右手を動かします。3人の中のリーダーですね。

私は左遣い。右手で人形の左手を動かします。

私は足遣い。両手で人形の両足を動かします。

立役(男役)の重たい人形は5〜10kgあります。

黒木という黒ずくめの衣装と頭巾。これがお客様から見えないようにしています。

人形は3人で1体を動かします。3人の息がぴったり合わないと人形が生きていないように動かさず。

吉田一輔さんプロフィール



人形浄瑠璃文楽座・人形遣い。昭和58年、13歳の時に父・桐竹一輔に入門、桐竹一輔と名の。昭和60年初舞台、平成16年吉田養助門下となり、吉田姓を名の。国立劇場文楽賞文楽奨励賞、咲くやこの花賞ほか受賞多数。平成25年に長男が吉田養助に入門、吉田養悠と名のり初舞台。世襲制ではない文楽の世界で、祖父の人形遣い桐竹亀松から四代続く人形遣いとして話題となった。三谷幸喜とタッグを組み上演した新作文楽「其礼成心中」は平成30年に再演が決定。これからの文楽界を担う実力と華やかさを兼ね備え、ますますの活躍が期待される。

イラスト 中西つづ子

「主遣い」「左遣い」「足遣い」の3人で一体の人形を動かしていますが、どのように動きを合わせていらっしゃるのでしょうか。主遣いから、左遣いと足遣いに「頭(ず)」というサインを送っています。主遣いが頭や肩のちょっとした動きで出すサインを、足遣い、左遣いの修行で徐々につかんでいき、今度は自分が主遣いになってサインを出せるように勉強します。30年たつてやっと主役級の人形を遣えるようになります。基本的なサインはありますが、主遣いによって違いますし、ベテランになると、「頭(ず)」を出さない人もいます。息や間合いを読み取らせる。同じようでも違うサインだったりするので、微妙な差を感じとれるようにならなければなりません。感じとれないときは怒られるだけですね。昔は舞台上で怒る師匠もいました。足遣い、左遣いにとっては、舞台が試練の場でもあり、主遣いに気に入られると、次のステップにつながります。緊張感の中で芸を覚えるんでしょうね。先を読んで、この人ならこう遣うのではないかというのを感じとることは、教えられたからと言ってできるものでもありません。勤の良し悪しもあります。口で説明するのはとても難しいですね。

人形の着付けはどうしていますか？

2時間ほどかけて自分で着付けています。若い頃は気が付かなかったことですが、例え師匠の人形であっても、他人の人形を持つと、人形が動かないんです。襟元の詰まりとか、たるませ方とかちょっとしたことなんです、それぞれ好みがあります。特に女形の人形は他人には借りません。着付けの綺麗さというよりは、人形の中の空間をどうするかというのを考えています。

生涯現役でご活躍される人形遣い。体力面や技能面など日常生活から心掛けていることはありますか。

人形はこの人形(お半)で3、4キロ。本番前に手指をほぐしたり、休みの日は身体のメンテナンスをしていますが、特別な筋力トレーニングはしていません。体力は必要ですが、体力だけではなくコツだと思えます。人形に愛されているのではないかなと思えますね。

技能面では、普段から能や歌舞伎をよく見るようにしていますが、一番の勉強は師匠や兄弟子を見ること。しかし、人形の中に入れてある手の動きは絶対教えてくれません。どうやっているのかな、と考えて工夫しています。技術は教えた方が成長するのかもしれませんが、僕も聞かれないと教えません。きれいに遣えるようになりたいという憧れや強い気持ちがあれば、だんだんできるようになります。

人形遣いとしての到達点や目標をお聞かせください。

目標は、師匠や兄弟子たちのように、舞台に登場したらお客さんが喜んでくれるような人形遣いになりたい。それぐらいにならないとあかんと思います。師匠方は、80歳を過ぎてても芸を追求し続けています。毎回同じことはしはらへん。前回よりよいものを、とやられているので、ふりをかえたり、工夫をされたり、師匠方の姿を見ていると一生勉強なんやということを感じます。満足すると成長しないし、おもしろくない。

初めて文楽を観る人に、ここを注目して欲しいというポイントはありますか。

文楽は、「太夫」、「三味線」、「人形遣い」の三業の芸能なので、いろんな楽しみ方ができます。古典芸能は難しいと思われがちですが、難しいと感じるところは、極端に言うところ寝てもかまわない。特に若い人たちは、何を言っているかわからへん、退屈やったと思うかもしれない。堅苦しく思わずに、「太夫がおもしろい顔して語っているな」とか、「おじさんがかわいい娘の人形を動かしているな」とか、三味線の音色とか、まずは楽しんでほしいですね。

実は文楽に稽古はありません。公演初日の前日に皆が揃って一回あわせるだけ。その緊張感がいいんでしょうね。でもやはり回を重ねるほどよものようになっていくので、通の方は初日、中日、千秋楽と3回はご覧になって変化を楽しむようですよ。三重公演の演目はどちらも世話物なのでわかりやすいです。「桂川連理柵」では、笑わせる部分があったり、心中の場面があったり見どころがたくさんあります。「曾根崎心中」は教科書にもでてくるような有名な物語です。

初めての人に来てもらうきっかけをつくるのがとても難しいと感じています。劇作家の三谷幸喜さんの作・演出で上演された三谷文楽「其礼成心中」のような試みも大切。三谷文楽をきっかけとして、文楽を観に来てくれる人がたくさんいました。劇場によっては字幕やイヤホンガイドなど初めての人でも来やすい親切な環境が整っています。文楽を1回も観たことがないという人を1人でもなくしたいと思っています。

語り口が爽やかな一輔さん。とても気さくに、そして情熱的に人形遣いの世界を語っていただきました。三人の人形遣いが三位一体となり、わずかな動きで人形がまるで生きているかのような表情を持ち、そして心情を表すことができるのは、まさに生涯をかけて「芸」を追求しているからこそかもしれません。残念ながら三重公演で一輔さんのご出演はありませんが、夜の部「曾根崎心中」では人間国宝の人形遣い 吉田和生さんが天満屋お初を遣われる予定です。果たして、どんな名人芸がみられるのか。お見逃しなく。

インタビューの続きはWEB版「もっと! MNEWS」で!! https://www.center-mie.or.jp/mnews_web_edition/

心中二題 3月の三重公演は見逃せない!! これぞ文楽。世話物の名作をお届けします。

昼の部「桂川連理柵」かつらがわれんりのしがらみ

伊勢参りの帰りの宿屋のできごと。丁稚長吉につこく言い寄られるお半を帯屋の主人長右衛門は、お半がまだ子どもだと思自分の布団に匿います。が、あらぬ間違いを犯し、あげくにお半は妊娠…。一方、帯屋乗っ取りを画策する儀兵衛たちは、旅先での出来事を記したお半の手紙を一同の前で面白おかしく読み上げ長右衛門を追い詰めますが、その窮地を長右衛門の妻お絹の機転が救います。眼目となる「帯屋」では、苦悩を内に秘めた長右衛門夫婦や繁斎とは対照的に、派手に、憎々しく、滑稽に動き回る後妻親子と洩垂れ丁稚が、舞台を賑わします。前半の儀兵衛と丁稚のやりとりは、客席を笑いの渦に巻き込むチャリ場として有名。後半はがらりと雰囲気が変わり、深刻で、長右衛門、妻、養父それぞれの心情が胸に迫ります。可憐なお半が長右衛門に背負われて登場する道行にも、ご期待ください。



©青木信二

夜の部「曾根崎心中」そねぎしんじゅう

文楽の演目の中では一二を争う人気作。文楽をご存知ない方や、外国人の方でも「曾根崎心中」なら知っていると言うくらい有名な名作です。まだご覧でない方はこの機会に、どうぞご覧ください。一度みたら、もう一度みたくなる、「曾根崎心中」はそんな名作のひとつでもあるのです。

結末の天神森の段は「この世の名残、夜も名残」と名文中の名文と知られるこの言葉が始まります。哀感に満ちた三味線の音が心にしみる心中。離れ離れになっては片時も生きていられず、恋を貫いて命を絶った二人を、近松門左衛門は原作で『恋の手本』と讃えたのです。



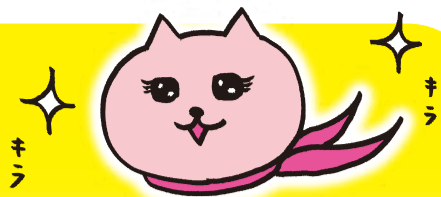
©青木信二

2/2 [金] 小ホール

文楽レクチャー
「なぜ心中しなければならないのか?~文楽の『心中物語』を紐解く~」
13:00開演(12:30開場)
全席自由 500円(本公演チケット購入者は無料)
講師:田中綾乃(三重大学人文学部准教授、[MNEWS]カルレコラムニスト)
先着順:事前申込制(受付開始:12月17日)
三重県文化会館チケットカウンター 059-233-1122

3/21 [水・祝] 中ホール

人形浄瑠璃 文楽
昼の部「桂川連理柵」 夜の部「曾根崎心中」
【昼の部】13:30開演(13:00開場) 【夜の部】18:00開演(17:30開場)
全席指定 S席3,500円、A席2,500円 昼夜通し券 S席6,000円、A席4,000円
三重県文化会館チケットカウンター 059-233-1122
共催:公益財団法人文楽協会 助成:公益財団法人岡田文化財団
※今回の三重公演では吉田一輔さんの出演はございません。



知って得する コミュニケーション

監修: 特定非営利活動法人アサーティブジャパン

コミュニケーションって大切なのはわかるけど、いつもうまくいくとは限らないよね。友だちやおうちの人ともうまくできないこともあるし、みんなもこんなことない?



フレンティ

三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」のキャラクター

イヤミさん
自分がイヤと思うことをきちんと相手に伝えずつついついイヤミな言動に

ガマンさん
自分より相手を優先してしまい気持ちを伝えられずガマンばかりしてしまう

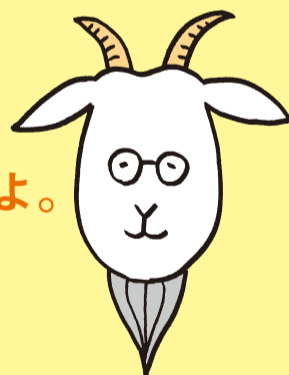
おこりんぼうさん
相手が自分の思いどおりに行動しないことが許せない!

待ち合わせにいつも遅れてくる友だちを出迎える

でも、こういう時は、一体なんて話せば攻撃的にならず、自分もガマンせずに済むのかな…。

そういう時には、

「アサーティブ・コミュニケーション」を使うといいと思うよ。



これは、自分も相手も尊重しながら、自分の気持ちを率直に伝えるコミュニケーションのこと。「こんなこと言ったら相手が気を悪くするかも」「今の言い過ぎたかな」「こんなことでイライラする自分って小さいな…」などと思ってモヤモヤをため込んでしまう…きっと多くの人にそんな経験があるはず。でも、アサーティブを身に付けることによって、自分も相手も大切にできるコミュニケーションにつながるんだよ。

アサーティブな伝え方のコツ

アサーティブに伝える時のコツとして、3つあります。1つ目は、**起きていることをなるべく具体的に**伝えます。上の例では、「連絡がないまま遅くなるのが時々あるじゃない?」。2つ目は、**自分の気持ちを言葉に**します。「大丈夫かな?と心配になるし、ずっと待つのは正直しんどいんだ」と**誠実に**伝えます。その上で、今後の要望を言葉にします。「これからは、遅れる時には一言連絡してもらえないかな」。誠実に率直に**自分の要望を言葉に**することで、相手の心に届きやすくなるのです。

説明: 森田汐生 先生 (NPO法人アサーティブジャパン代表理事)

遅かったから心配したよ。遅れそうになったら、これからは連絡くれる?

アサーティブな話し方ってこんなかんじだよ



タイプ別アドバイス

イヤミを言うの後味が悪い。「本当に自分が伝えたい気持ちは」と心の中でつぶやいてみよう。



自分が我慢する関係は長続きしない。もっと自分の気持ちを尊重した会話を始めよう。



怒りをぶつける前に一度立ち止まって自分の気持ちを考えてみよう。

自分の気持ちってちゃんと言葉にして伝えても良いんだね。

今まで自分の気持ちを押し込めて、言いたくても言うのをやめたり、言い過ぎて後悔したり、「相手はこう思っているから自分はこうしなければ」と勝手に思い込んで行動したりしていたことがあったかもしれない。こういうコミュニケーションってなんだか嫌な気持ちになるよね。

私たちは、小さい頃から「女性はでしゃばっちゃだめ」とか「強く言うことが男らしい」などと思いこんでしまっているんだ。それが、コミュニケーションだけでなく、今までの生き方や相手との関係にも影響しているんだよ。

だから、自分も相手も大切にできるアサーティブを身に付けることって、コミュニケーションだけでなく、自分自身の「生きやすさ」にもつながっていくんじゃないかな。



「フレンテみえ」では、自分らしく生きるみなさんを応援するさまざまな講座を開催中! P6のマークが目印だよ!

Event Information

三重県総合文化センターイベントインフォメーション

1月のイベント情報

4 [木]	ニューイヤー・コンサート2018 シルク・ドゥラ・シンフォニー 18:30開演(18:00開場) 全席指定 S席5,000円、A席4,000円、B席3,000円、C席2,000円 三重県文化会館チケットカウンター 059-233-1122	大ホール
4~8 [木]~[月・祝]	第85回 独立名古屋展 9:00~17:00(最終日は9:00~16:00) 一般700円、学生無料 独立名古屋展事務局 059-279-2942(倉岡)	1・2 ギャラリー
6 [土]	たんたらホイ!フェス vol.30 ENJOY Music&Dance&Performance ver. 13:00開演(12:30開場) 全席自由 一般1,000円(前売・当日とも)、学生700円(前売・当日とも) ※7日も催し有。詳しくはホームページをご覧ください。 特定非営利活動法人 たんたらホイ会 059-226-0005(宮田)	大ホール
7 [日]	第11回 受賞記念披露コンサート 東海B [三重] 12:15開演(12:00開場) 全席無料 日本ピアノ研究会三重支部 059-225-6779(山村)	大ホール
7 [日]	新春マジックショー 第1回 津マジックサークル発表会 13:00開演(12:30開場) 全席無料 津マジックサークル 059-224-0906(松林)	多目的ホール
8 [月・祝]	三重県アンサンブルコンテスト高等学校の部 地区大会 9:55開演(9:45開場) 全席無料 ※未就学児入場不可 三重県高等学校吹奏楽連盟 0598-21-5313(松阪工業高等学校内:齋田)	大・中ホール
8 [月・祝]	星の街の音楽会 vol.24 和太鼓 凜 コンサート 13:30開演(13:00開場) 全席自由 会員無料(非会員500円) 三重県自閉症協会 090-2573-2186(横山)	多目的ホール
11~14 [木]~[日]	おとな・子ども合同作品展 9:30~17:00(最終日は9:30~15:00) 全席無料 アトリエ9(ナイン)会 059-226-7411(中井)	2 ギャラリー
13 [土]	三重県教育工学研究会 2017年度 冬季セミナー これからの情報教育のあり方を探る 10:30開演 全席無料 三重県教育工学研究会 080-3632-5509(中西)	多目的ホール
13・14 [土]・[日]	第50回 三重県アンサンブルコンテスト 両日とも 9:50開演(9:30開場) 全席自由800円 ※当日券のみ ※未就学児入場不可 三重県吹奏楽連盟事務局 059-388-8112(毎週火・金曜日13:00~17:00)	大ホール
14 [日]	社交ダンスパーティ 13:00~16:00 参加費1,000円 三重県アマチュアダンス連盟 090-3467-6140(秋山)	1 ギャラリー
18 [木]	みえ学習塾フェア2018 10:30~14:00 全席無料 全国学習塾協会三重県地区協議会 090-1869-9655	1 ギャラリー
28 [日]	三重大学管弦楽団 第54回定期演奏会 18:00開演(17:30開場) 全席自由 前売600円(当日700円)、学生600円(前売・当日とも) ※当日学生証を持参ください 三重大学管弦楽団 090-7303-5069(小原)	大ホール
28 [日]	サンデーダンスサークル 親睦ダンスパーティ 13:00~16:00 参加費1,000円 サンデーダンスサークル 090-3425-0353(水谷)	2 ギャラリー
31 [水]	ワンコインコンサートvol.84 ハーブ 景山梨乃 11:30開演(10:45開場) 全席自由 500円(チケットレス) 三重県文化会館チケットカウンター 059-233-1122	大ホール

2月のイベント情報

2 [金]	第340回例会 文学座公演「女の一生」 18:30開演(18:00開場) 会員制 津演劇鑑賞会 059-228-9523	中ホール
2 [金]	文楽レクチャー「なぜ心しなければならぬのか? ~文楽の「心中物語」を紐解く~」 13:00開演(12:30開場) 全席自由500円 ※事前申込制・先着順 ※本公演(3/21中ホール) チケット購入者は無料 三重県文化会館チケットカウンター 059-233-1122	小ホール
3 [土]	学校法人大川学園 幼稚園生活発表会 【午前】大川幼稚園生活発表会 【午後】津西幼稚園生活発表会 【午前】9:00開演予定 【午後】12:30開演予定 全席無料 大川幼稚園 050-2018-1121、津西幼稚園 059-225-4638	大ホール
3 [土]	三重県農林漁業就業・就職フェア2018 【セミナー】11:45~12:45 【面接会】13:00~15:30 全席無料 【公財】三重県農林水産支援センター 0598-48-1226(担い手育成支援課)	1・2 ギャラリー
3 [土]	平成29年度 就労体験を通じた農業就労の促進事業報告会 10:30~11:45 全席無料 【公財】三重県農林水産支援センター 0598-48-1226(担い手育成支援課)	2 ギャラリー

4 [日]	第30回中部日本個人・重奏コンテスト 三重県大会 中学校・一般重奏の部 【大ホール】9:50開演(9:30開場) 全席自由 800円、共通券 1,000円 ※当日券のみ ※未就学児入場不可 【中ホール】9:20開演(9:00開場) 全席自由 800円、共通券 1,000円 ※当日券のみ ※未就学児入場不可 三重県吹奏楽連盟事務局 059-388-8112(毎週火・金曜日13:00~17:00)	大・中ホール
6~12 [火]~[月・祝]	アートフォーラム三重2018 (触発) 【6日~9日、11日】9:00~17:00 【10日】9:00~20:00 【12日】9:00~16:00 全席無料 アートフォーラム三重 事務局 0596-55-3510(所)	1・2 ギャラリー
7 [水]	加羽沢美濃のクラシック音楽講座 ~ヴァイオリンを10倍楽しむ3箇条~ 14:00開講(13:30開場) 全席自由 1,500円 ※事前申込制・選考有(定員100名) 三重県文化会館チケットカウンター 059-233-1122	小ホール
10 [土]	津岳風会 第35回 合吟・競吟大会 10:00開演 全席無料 津岳風会 090-1695-7915(萩原)	多目的ホール
10・11 [土]・[日]	第44回 東海アンサンブルコンテスト 10:00開演(9:30開場) 全席自由 1,000円 ※当日券のみ ※未就学児入場不可 東海吹奏楽連盟 http://www.ajba.or.jp/tokai/	大ホール
12 [月・祝]	総文録レーディング・アーティストシリーズ ハイパー・ビートルズ 高橋アキ ピアノリサイタル 14:00開演(13:30開場) 全席指定 一般2,000円、学生1,000円 三重県文化会館チケットカウンター 059-233-1122	大ホール
12 [月・祝]	和太鼓集団志多ら 全国ツアー-息吹~IBUKI~ 津公演 17:00開演(16:30開場) 全席指定 一般4,000円(当日4,500円)、4歳以上~高校生以下3,000円(当日3,500円) 【有】志多ら 0536-76-1708	中ホール
17 [土]	第30回 中部日本個人・重奏コンテスト 三重県大会 高等学校の部 9:50開演(9:30開場) 全席自由800円 ※共通券はありません ※当日券のみ ※未就学児入場不可 三重県吹奏楽連盟事務局 059-388-8112(毎週火・金曜日13:00~17:00)	中・小ホール
17 [土]	みえ自然科学フォーラム2017 10:00開演(9:30開場) 全席無料 三重県教育委員会事務局高校教育課 059-224-3002	多目的ホール
23 [金]	ワンコインコンサートvol.85 チューバ 佐藤和彦 11:30開演(10:45開場) 全席自由 500円(チケットレス) 三重県文化会館チケットカウンター 059-233-1122	大ホール
25 [日]	皇學館大学教育学部卒業記念ミュージカル レクス王子と不思議な絵本 13:30開演(13:00開場) 全席無料 皇學館大学企画部 0596-22-8600(広報担当)	大ホール
25 [日]	和太鼓×マリンバ GONNA 15周年記念公演 地球のうた 15:00開演(14:30開場) プレミアム席(指定)3,500円、指定席3,000円、自由席2,000円 学生・未就学児1,000円off ※当日500円アップ 三重県文化会館チケットカウンター 059-233-1122	中ホール
25 [日]	小唄土筆派三都乃会 結成二十周年記念演奏会 11:00開演(10:30開場) 全席無料 三都乃会 090-5105-0957(海原)	小ホール
25 [日]	2018新春の集い 高橋佳子講演会映像放映 13:00開演(12:00開場) 全席無料 GLA三重南ターミナル 0598-30-8600(奥山)	多目的ホール
25 [日]	サンデーダンスサークル 親睦ダンスパーティ 13:00~16:00 参加費1,000円 サンデーダンスサークル 090-3425-0353(水谷)	1 ギャラリー
28 [水]	三重のまなび2017・まなびいすとセミナー 「楽楽平家琵琶塾~諸行無常の世界~」 13:30~15:30(12:45開場) 全席自由 500円 ※事前申込制・先着順(150名) 三重県生涯学習センター 059-233-1151	小ホール

3月のイベント情報

2~4 [金]~[日]	MAE展 ~MIE ART EDUCATION~ 9:30~16:30(最終日は9:30~15:00) 全席無料 MAE実行委員会 090-6574-4793(三林)	1 ギャラリー
3 [土]	三重大学医学部附属病院がんセンター主催 第11回市民公開講座 知ってほしいがんの在宅医療について 13:30開演(12:30開場) 全席無料 ※申込先着順 三重大学医学部附属病院がんセンター 059-231-5055	中ホール
3・4 [土]・[日]	ハイバイ「ヒッキー・ソトニデテミターノ」 【3日】14:00開演 / 18:00開演 【4日】14:00開演 整理番号付自由席 一般3,000円、25歳以下1,500円 三重県文化会館チケットカウンター 059-233-1122	小ホール
4 [日]	三重県慢性腎臓病対策・県民公開講座 「あなたの腎臓を守る」 13:00開演(12:00開場) 全席無料 三重CKD委員会 059-231-5403	中ホール
8 [木]	第3回 地域における支え合い活動セミナー 13:00~16:30 全席無料 【福】三重県社会福祉協議会 059-227-5145	1・2 ギャラリー
10 [土]	高橋優 LIVE TOUR 2017-2018 「ROAD MOVIE」 17:30開演(16:30開場) 全席指定 6,500円 三重エフエム放送(株) 059-225-5533	大ホール

<p>「ランチタイム」に「1時間」「500円」で楽しむカジュアルコンサート ワンコインコンサート 11:30開演(10:45開場) 三重県文化会館チケットカウンター 059-233-1122 共催:レディオキューブFM三重 ※満席となった場合はご入場いただけませんので、あらかじめご了承ください。</p> <p>大ホール 往復 全席自由 チケットレス</p>	<p>vol.84 1/31 [水] 世界が注目する ハーブの申し子 ハーブ 景山梨乃</p>  <p>©川村悦生</p>	<p>vol.85 2/23 [金] 新日本フィルが誇る 重低音職人 チューバ 佐藤和彦</p>  <p>©RamAir.LLC</p>	<p>vol.86 3/28 [水] 世界を 股に駆ける 進化形 クラリネット 吉田 誠</p>  <p>©RamAir.LLC</p>
--	---	---	---

10 [土]	大名古屋成金 ~落語芸術協会二ツ目競演~ 三重公演 14:00開演(13:30開場) 整理番号付自由席 2,500円(当日2,800円) 東海テレビ放送(株)事業部 052-954-1107(平日10:00~18:00)	多目的 ホール
11 [日]	上岡敏之指揮 新日本フィルハーモニー交響楽団 16:00開演(15:30開場) 全席指定 S席6,000円、A席5,000円、B席4,000円 三重県文化会館チケットカウンター 059-233-1122	大 ホール
11 [日]	三重アクターズ養成所2018 発表会! 18:00開演(17:30開場) 入場料500円 三重アクターズ養成所 059-255-0356	中 ホール
11 [日]	2018 カワイ大正琴フェスティバル 13:30開演(13:00開場) 予定 入場無料 河合楽器製作所 059-351-2636(青木)	多目的 ホール
11 [日]	チャリティーダンスパーティ 13:30~16:00 参加費 1,000円(チャリティー) 津市民ダンスサークル 090-5622-8990(穂積)	2 ギャラリー
15~18 [木]~[日]	第31回 全国シルバー書道展三重展 [15日]13:00~16:00 [16日・17日]10:00~16:00 [18日]10:00~14:00 入場無料 全国シルバー書道展三重展実行委員会 0596-28-2978(高尾)	2 ギャラリー
17 [土]	平成29年度 三重県自衛隊 入隊・入校予定者激励会 13:30開演(12:30開場) 予定 入場無料 ※要整理券 詳細はお問い合わせ下さい。 自衛隊三重地方協力本部 059-225-0531(宮里)	中 ホール
17-18 [土]・[日]	ミエ・ユース演劇ラボ2018 FUKAIPRODUCE羽衣 開催時間未定 詳細未定 三重県文化会館チケットカウンター 059-233-1122	小 ホール
18 [日]	サンデーダンスサークル 親睦ダンスパーティ 13:00~16:00 参加費 1,000円 サンデーダンスサークル 090-3425-0353(水谷)	1 ギャラリー
21 [水・祝]	人形浄瑠璃 文楽 [昼の部]「桂川連理欄」[夜の部]「曾根崎心中」 [昼の部]13:30開演(13:00開場) [夜の部]18:00開演(17:30開場) 全席指定 S席3,500円、A席2,500円、昼夜通し券 S席6,000円、A席4,000円 三重県文化会館チケットカウンター 059-233-1122	中 ホール
21 [水・祝]	2018 カワイコンクール受賞者記念コンサート うたのコンクールの部 13:30開演(13:15開場) 予定 全席自由 540円 (株)河合楽器製作所 059-351-2636(青木)	多目的 ホール
21 [水・祝]	マリンス ダンスパーティ 社交ダンスパーティ 13:30~16:30 参加費 1,000円(当日1,200円) マリンス 090-3936-4611(野村)	1 ギャラリー
22 [木]	第341回例会 テアトル・エコー公演「もやしの唄」 18:30開演(18:00開場) 会員制 津演劇鑑賞会 059-228-9523	中 ホール
25 [日]	JDSF三重 春季ダンスフェスティバル 13:00~16:00 参加費 2,000円(前売のみ) 三重県ダンススポーツ連盟 090-4867-1476(滝澤)	1 ギャラリー
28 [水]	ワンコインコンサートvol.86 クラリネット 吉田 誠 11:30開演(10:45開場) 全席自由 500円(チケットレス) 三重県文化会館チケットカウンター 059-233-1122	大 ホール
28 [水]	第28回 津西高校吹奏楽部定期演奏会 18:30開演(18:00開場) 全席自由 500円(当日600円) 津西高等学校吹奏楽部 059-225-1361	中 ホール
28~4/1 [水]~[日]	第14回 桂筆会書展 かなの美と身近な書の楽しさを求めて 9:30~16:00(最終日は9:30~15:00) 入場無料 桂筆会 059-232-6369(高根)	2 ギャラリー
29 [木]	第12回 MIEバレエフェスティバル 三重県でバレエを育てる会 13:30開演(13:00開場) 予定 入場無料 ※要整理券 MIE・バレエフェスティバル事務局 0596-29-4680	中 ホール
30 [金]	第3回 ヤマハジュニアピアノコンクール三重地区予選 10:00開演予定 入場無料 ヤマハ音楽振興会 052-789-0480	中 ホール
31 [土]	“新しいコンチェルト”との出逢い 13:30開演(13:00開場) 全席自由 2,500円(前売・当日とも) “新しいコンチェルト”との出逢い みえ実行委員会 059-224-0198(兼重)	中 ホール

●学生向けサービス 25歳未満の学生に限り。 ●託児サービス このマークのある公演に適用されます。託児の申込は全て予約制(0歳から就学前まで)公演2週間前までにお申し込み下さい。 ●クラシック後半割 休憩後からの入場で定額の半額。当日、開演後に発売いたします。(事前のお申し込みはできません。完売の場合は販売いたしません。) ●そうぶんバスツアー 東紀州地域からの往復バスツアー 事前申込制・先着順 お問い合わせ TEL059-233-1105

最新のイベント情報はホームページをご覧ください。

harunachico

ハルナチコ フェア
2017.12.17 ▶ 2018.2.12

そうぶん冬の窓アートも手掛けた注目の作家の作品が期間限定で登場!

福袋販売

2018年もよろしく
お願いします!

2018年1月4日から

アートショップ みつけ
Mikke

営業時間 10:00~19:00
TEL059-236-3391
定休日 センターの休館日に準じます

Mニュース読者アンケート応募でMikkeグッズが抽選で10名様に当たる!
詳細は8ページ▶▶▶

三重テレビの県内ニュースをLINEで配信中!

LINE NEWS内の「三重テレビNEWS」を友だち追加すると、定期的に三重テレビのニュース配信の受信が可能に!! 三重県の「今」が手軽にわかる! 情報は、1回につき8記事をダイジェスト形式で、毎週月・水・金曜日の正午に配信されます。

【登録方法】
右下のQRコードを読み取る または
LINEアプリ起動後、公式アカウント
① 三重テレビ NEWS で検索 → 友だち追加

MTV 三重テレビ放送

2017年モンドセレクション
最高金賞9年連続受賞酒

清酒宮の雪
蔵元 宮崎本店です。

皆様に心から愛される美酒造り
「人も心、酒も心」

宮崎本店は弘化三年創業
(西暦1846年)、爾来
百七十有余年「品質本位」
を社是にお客様に喜ばれる
お酒造りを続けています。

創業弘化三年
ISO9001・14001
認証取得企業

株式会社 宮崎本店
四日市市楠町南五味塚9
お客様相談室
☎059-397-311

http://www.miyanyouki.co.jp E-mail:info@miyanoyuki.co.jp

Face to Face

三重県信用金庫協会

71んきん 津信用金庫 北伊勢上野信用金庫
三重信用金庫 桑名信用金庫
紀北信用金庫

製造直売 野田のあられ

お歳暮ご贈答に
ぜひどうぞ
地方発送承ります

創業昭和9年 伝統の味

株式会社 野田米菓

【営業時間】9:30~18:30 【定休日】火曜日 http://www.nodabeika.co.jp
■店舗 津市大里睦合町2584-4 TEL059-230-0771 FAX059-230-2598

資産運用のご相談は 第三銀行へ

お客様のニーズに合った資産運用を、
親身に、分かりやすくご提案します。
初めての方もお気軽にご相談ください。

キラリと光るあなたの銀行

第三銀行
http://www.daisanbank.co.jp

かなり特別、 ちょっと贅沢。

井村屋株式会社

人と地域に
寄り添い
同じ未来を
見つめる銀行。

お気軽にご相談ください。

資産運用
住宅ローン
ビジネスローン

百五銀行
FRONTIER BANKING
インターネットホームページ http://www.hyakugo.co.jp/

モクモク道楽農場レストラン 風にふかされて

古民家を移築したゆったりとした落ち着いた空間
の中で、モクモクをはじめ、地元の生産者さんから届いた
食材を使った料理が並ぶバイキング形式のレストラン
です。ご家族やご友人、グループなどのお食事、忘
年会や新年会などのご予約も承っております。
モクモクの地ビールなどが楽しめる飲み放題プランなど
もご用意しております。

ランチタイム 平日 11:00~15:30 土日祝 11:00~16:00
50+(50歳以上):1,696円
大人:1,851円
小学生:1,028円
幼児3歳~:514円

ディナータイム 平日 17:30~22:00 土日祝 17:00~22:00
50+(50歳以上):2,211円
大人:2,365円
小学生:1,337円
幼児3歳~:514円

津市一身田上津部田3005-2 山の手テラス内 電話059-236-0909

1月~3月の主催事業ピックアップ

1/27 [土] フレンテみえ情報コーナーレクチャースペース

フレンテみえ情報コーナーミニセミナー
笑顔がふえる両立のヒント~働く、育てる、暮らす。暮らしの工夫編~

13:30~15:00(13:00開場) 無料 定員:10名程度
申込:HP、Eメール、電話、郵送、FAX、持参
三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」059-233-1130
【託児】0歳~小学3年生程度 (託児料子ども1人につき1,000円)

仕事に家事に子育てに...と毎日大忙しのあなた。そんな中、みなさんが日頃それぞれ実践している暮らしの「工夫」についてみんなで情報交換し、毎日を「もっと笑顔に」自分らしく過ごせるための両立のヒントを見つけませんか?



2/17 [土]・24 [土] 生涯学習棟2階 まなびラボ

平成29年度 女性のためのエンパワーメント・スクール
周りに・社会に流されないワタシになる!
「このまをを“ちょっと”良くしたい!私の想い、話す、ツナガル。」

各日13:00~(予定) 無料 定員:20名
申込:HP、Eメール、電話、郵送、FAX、持参
三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」059-233-1130
【託児】0歳~小学3年生程度 (託児料子ども1人につき1,000円)

あなたが暮らすこのま。もうちょっとこうだったらいいのに!「こういうところを変えたいなあ」と思いながら、なかなか行動にうつせないことありませんか?そんな“想い”についてみんなでワイワイ話したり、“想い”をカタチにしている人の話を聞いたりしてみませんか。



2/28 [水] 小ホール

三重のまなび2017・まなびいすとセミナー
「楽楽平家琵琶塾~諸行無常の世界~」

13:30~15:30(12:45開場) 全席自由 500円 定員:150名
講師:林和利(名古屋女子大学教授)、今井検校勉(国風音楽会会長)
事前申込制・先着順
申込方法:電話・FAX・ホームページ・Eメール・窓口・郵送
三重県生涯学習センター 059-233-1151

盲目の琵琶法師が語る『平家物語』。それを平曲と言います。800年の歴史を刻む伝統芸能ですが、現存の本格伝承者は今井検校ただ一人。解説付きのライブ演奏で、有名な「那須与一・扇の的」の一節をお楽しみいただきます。



3/4 [日]・11 [日] レセプションルーム

シリーズ文学(全2回)
江戸川乱歩の世界~うつし世は夢、夜の夢こそまこと~

13:30~15:30(12:45開場) 無料 定員:200名
講師:河原徳子(日本文学研究者)
事前申込制・先着順
申込方法:電話・FAX・ホームページ・Eメール・窓口・郵送
三重県生涯学習センター 059-233-1151

名張に生まれ、二歳まで亀山で育ち、若き日に鳥羽造船所に勤めた江戸川乱歩は、まさに「三重の人」でした。「探偵小説」か「犯罪小説」か「怪奇小説」か「幻想小説」か...朗読・群読の中で、その答えが見つかるかも知れません。



チケット発売日情報 ※掲載している催し物は12月1日時点の内容です。日時・内容が変更される場合があります。また本紙発行時点でチケットが完売の場合もございます。ご了承ください。

<p>2018.4/7 [土] 小ホール</p> <p>穂吉敏子ジャズコンサート</p> <p>18:30開演(18:00開場) 全席指定 4,000円</p> <p>シアターメイツ優先予約 2/8 [木]~2/10 [土]</p> <p>一般発売 2/11 [日]~</p>	<p>2018.6/21 [木] 大ホール</p> <p>スロヴァキア・フィルハーモニー管弦楽団</p> <p>18:30開演(18:00開場) 予定 S席8,000円、A席6,500円、B席5,000円、C席3,000円</p> <p>シアターメイツ優先予約 1/11 [木]~1/13 [土]</p> <p>一般発売 1/14 [日]~</p>	<p>2018.7/21 [土] 大ホール</p> <p>日本センチュリー交響楽団 三重特別演奏会</p> <p>15:00開演(14:15開場) S席4,500円、A席3,500円、B席2,500円</p> <p>シアターメイツ優先予約 3/8 [木]~3/10 [土]</p> <p>一般発売 3/14 [水]~</p>
--	--	--

●学生向けサービス 25歳未満の学生に限り。 ●託児サービス このマークのある公演に適用されます。託児の申込は全て予約制(0歳から就学前まで)公演2週間前までにお申し込み下さい。 ●クラシック後半割 休憩後からのご入場で定価の半額。当日、開演後に発売いたします。(事前の申し込みはできません。完売の場合は販売いたしません) ●そうぶんバスツアー 東紀州地域からの往復バスツアー 事前申込制・先着順 お問い合わせ TEL059-233-1105

平成29年度 教育学部卒業記念 ミュージカル★公演 2/25 日

演題 レクス王子と不思議な絵本

会場 三重県総合文化センター 大ホール

お問い合わせ 0596-22-8600 (企画部)

入場無料

皇學館大学 Japan to the NEXT

http://www.paco.co.jp/tsu/

ホテル ザ・グランコート津西

TEL 059-227-8333 〒514-0006 津市広明町345-4

電気・空調・電気通信・設計施工

有限会社 江藤電設

本社 〒514-2222 三重県津市豊が丘1-44-13
作業所 〒514-2211 三重県津市芸濃町棟本2945-6

電話 (059)266-1066 FAX (059)266-1067

創業33年の信頼と豊富な実績
不動産の鑑定評価・コンサルと企業・農林水産業の経営支援
土地建物の売買・相続から資産活用・再生までを総合的に支援

コクド鑑定調査株式会社

日本不動産鑑定士協会/日本補償コンサルタント協会/三重県中小企業診断協会各会員

津市広明町121-2/TEL 059-224-0131/FAX 059-227-2494

新しい事業へそして未来へ

セントレア(中部国際空港)へ、空と海を結ぶ玄関、津なぎさ街の開闢。同じ輸送の未来を求めた新しい事業に挑戦しています。

株式会社 日研ハイウエー

本社 津市戸木町4857-13
TEL 059(254)5900

放送大学 4月入学生募集

「教養」は生きるチカラ。

<4月入学お願期間>

第1回募集 平成29年12月1日(金)~平成30年2月28日(水)

第2回募集 平成30年3月1日(木)~平成30年3月20日(火)

テレビ・ラジオ・インターネットで学べます。1科目(2単位)11,000円(教材費を含む)から。入学試験はありません。(大学院全科目を除く)キャリアアップ(現職教員・看護師・准看護師の方)や資格取得、生涯学習など目的に応じた学び方ができます。

放送大学三重学習センター
〒514-0081 三重県津市一身田上津部田 1234
TEL: 059-233-1170 FAX: 059-233-1179

2/12 [月・祝] 大ホール 学50 往復

総文レコーディング・アーティストシリーズ ハイパー・ビートルズ
高橋アキ ピアノリサイタル

14:00開演(13:30開場) 全席指定 一般2,000円、学生1,000円

最高の響きを持つホールで生まれた名盤を生演奏で楽しむ総文レコーディング・アーティストシリーズ。第2弾は、現代音楽の第一人者として国内外で高い評価を得ている高橋アキ。今回のリサイタルでは、アルバム「ハイパー・ビートルズ」の収録曲を中心に彼女の“今”をお届けします。ジョン・ケージ、武満徹、坂本龍一など世界に名だたる作曲家がビートルズ作品のアレンジに挑んだ高橋アキ企画制作・演奏「ハイパー・ビートルズ」シリーズ。「イエスタディ」「レット・イット・ビー」など名曲の数々が、きらめく音の粒となってホールに広がります。高橋アキならではの透明感と柔らかな感性を体感してください。

三重県文化会館チケットカウンター 059-233-1122 共催:カメラータ・トウキョウ



2/25 [日] 中ホール 往復

和太鼓×マリンバ
GONNA 15周年記念公演 地球のうた

15:00開演(14:30開場)
【指定席】プレミアム席3,500円、一般席3,000円
【自由席】2,000円
学生・未就学児1,000円off ※当日500円アップ
三重県文化会館チケットカウンター
059-233-1122
共催:GONNA



名古屋で結成し15年。さらに進化を続ける新生GONNAの魂のステージ!

3/3 [土] 知識の広場 ほか

WHITE RIBBON RUN 2018 in みえ

10:00~11:30(終了時間は予定)
料金2,800円(エントリー料)
【自由席】2,000円
申込:wrun.jpよりエントリー
三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」059-233-1130

走ろう。自分のために。誰かのために。国際協力NGOジョイセフ主催のホワイトリボンラン。フレンテみえでは、この活動に賛同し全園バーチャル拠点ラン会場として参加します。世界中の女性が、望んだ時に安全に妊娠・出産を迎え、命が守られるよう願いを込めて走ろう!



詳細は [ホワイトリボンラン](#) [検索](#)

3/11 [日] 大ホール 学10 CLASSIC 往復

上岡敏之指揮
新日本フィルハーモニー交響楽団

16:00開演(15:30開場) 全席指定
S席6,000円、A席5,000円、B席4,000円
三重県文化会館チケットカウンター
059-233-1122
共催:新日本フィルハーモニー交響楽団



「暗から明へ」圧倒的なブラムス。
●ドヴォルジャーク:ヴァイオリン協奏曲イ短調作品53 B.108
●ブラムス:交響曲第1番ハ短調作品68

2/25 [日] レセプションルーム

三重県生涯学習センター「人・まち・セミナー」
~独りにさせないまち・ひとりにならないチカラ!~

13:00~(12:30開場) 無料
講師:富永潤(「昭和ハウス」館長)、松田道雄(尚絅学院大学エクステンションセンター長)

昭和家電を収集展示している「昭和ハウス」館長の富永潤さんをモデルにしたNHK津放送局制作ドラマ「ラジカセ」を題材にとりあげ、誰もが関わり合うことの大切さ、独りにさせないことの大切さ等、人づくりや地域づくりについて課題解決に向けた取り組みを考えていきます。



3/3 [土]・4 [日] 小ホール (3/4のみ)

ハイハイ
「ヒッキー・ソトニデテミターノ」

[3日]14:00開演/18:00開演 [4日]14:00開演
整理券付自由席 一般3,000円、25歳以下1,500円
三重県文化会館チケットカウンター
059-233-1122

自身の引きこもり体験をもとに描いた人気作の第2弾。「ヒッキー・ソトニデテミターノ」が若井秀人主演で三重に登場!



©若井秀人 撮影:平岩亨

3/24 [土] 生涯学習棟3階 みるシル

みえ生涯学習ネットワーク共催講座
忍者も行ってた集中と休息の切り替え
一効果的なリラックス法一

13:30~15:00 無料
講師:小森照久(三重大学大学院医学系研究科教授)
事前申込制・先着順 申込方法:電話・FAX・ホームページ・Eメール・窓口・郵送
(申込受付開始 2018年1月中旬予定)
三重県生涯学習センター 059-233-1151



昼間一生懸命働いて、床に入っても興奮したまま眠れないという状態が続くと、心身にダメージがあり、病気の原因になります。忍者の上手なオン(集中)とオフ(休息)の切り替え法と様々なリラックス法を紹介します。

Performing arts vol.3

Ayano Tanaka

文楽の 汲み尽くしえない魅力

田中綾乃

三重大学人文学部准教授

名古屋生まれ。東京女子大学文理学部哲学専攻卒業。同大学院博士課程修了(人間文化科学博士)。専門は哲学、演劇論。18世紀のドイツの哲学者カントの哲学研究を行う一方、演劇評論家として新聞や雑誌、パンフレット等に劇評や解説を寄稿。



「太夫」、「三味線」、「人形遣い」の三業から成り立つ文楽は、人形浄瑠璃(人形芝居)のひとつで、義太夫節によって行われる大阪の古典芸能である。私は、歌舞伎は幼少時から観ていたが、文楽は大学院の頃から観始めたので、歌舞伎に比べると観劇歴は浅い。しかし、たちまち文楽の芸に魅了され、いまでは文楽にどっぷり浸かる日々。

もともと人形好きも相俟って、最初は文楽人形への興味から始まった。人形は置かれている時は、ただの「モノ」なのに、ひとたび人形遣いの手にかかると、見事に命を吹き込まれる。魂が宿った人形の繊細な表情、人間には決して出来ない動きなど、三人の人形遣いの息の合った技芸による人形の細やかな表現が魅力的だった。だが、その人形の表現も物語を語る太夫と三味線がいなければ成立しない。私の関心は、次第に床で語られる太夫と三味線の芸へと移行していった。

太夫と三味線は、基本的には一人ずつで、長い場面では、1時間半以上もそのペアが勤める。太夫が語るの、地の文という物語の背景やナレーション的部分と登場人物すべてである。歌舞伎でも一人の俳優が複数の役を演じることはあるが、太夫の場合、多い時には一人で十人以上の老若男女の登場人物の台詞を語り分ける。この一人で様々な役柄を次々と語り分ける太夫の技に、まずもって驚かされた。さらに太夫は、「情」も表現しなければ、観客に感動を与えることはできない。物語全体に「情」を滲み出すのは、語りの本質でもあり、まさに芸と呼ばれる領域ともいえる。

他方で、太夫の語りを支えるのが三味線だ。通常、三味線は伴奏音楽だと思われがちだが、文楽の三味線はそうではない。三味線の中でも一際大きく、低い音を奏でる太棹三味線は、時に打楽器のような役割も果たす。また、物語の情景を奏で、同じ旋律でも登場人物によって弾き分けがなされることで、三味線も太夫と同じく語り芸の重要な要素を担う。

このように太夫と三味線が合わさって初めて義太夫節という浄瑠璃が成立する。この義太夫節、名人を聞くと、舞台を観ていなくても、語りの力によって、物語の世界観がありありと立ち現れてくるから不思議だ。入魂の語りに心を動かされ、自然に涙が溢れるという経験が何度もあった。こうして私は義太夫節にすっかり魅了されてしまった。

そして、今では聴くだけに留まらず、縁あって義太夫節をお稽古するありさま。義太夫は聴いていると、必ず自分でもやりたくなるようで、明治や大正時代には素人義太夫と呼ばれる人たちがたくさんいたという。私は義太夫節も含めた浄瑠璃という語り芸の奥義を知りたくて、稽古を始めたのだが、自分でやればやるほど、浄瑠璃の汲み尽くしえない奥深さに感じ入っている。

3月の文楽公演では、魅惑的な人形浄瑠璃文楽の世界を垣間見ていただきたい。



写真提供:国立文楽劇場

田中綾乃さんの「文楽レクチャー」2月2日(金)開催決定!
詳しくは特集:文楽入門(P2)

Classic music vol.7

Mai Takano

クラシック・オン・アイス
—フィギュアスケートで楽しむクラシック音楽

高野麻衣

コラムニスト
音楽ジャーナリスト

上智大学文学部卒業(西洋文化史)。ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン「熱狂の日」音楽祭に出会い、音楽業界へ。編集者を経て現職。おもなフィールドはクラシック音楽と美術、マンガ等の文化史。著書に「マンガと音楽の甘い関係」(太田出版)など。



秋から冬は、クラシック音楽の世界が最も盛り上がる季節。そして、2017-18のオリンピックシーズンに盛り上がるフィギュアスケートの世界でも、数多くのクラシック音楽が、真冬の感動を彩っていますね。

フィギュアスケートの原型が生まれたのは18世紀末、モーツァルトが活躍し、ベートーヴェンがウィーン・デビューを飾った頃のヨーロッパ。元々は「コンパルソリー」という、氷上を滑って難解な図形を描くテクニックを競うゲームでした。フィギュアスケートの「フィギュア」とは、この「図形」を意味しています。

ショパンやリストが活躍した19世紀半ばには、バレエ教師にして一流スケーターでもあった米国人ジャクソン・ヘインズが登場。バレエのポーズやステップをスケーターに取り入れようとした彼は、ヨーロッパを訪れた際、大流行していたウィーンワルツに魅了され、音楽をプラスすることを思いつきました。ワルツの調べに乗ってバレエのように舞うヘインズの「踊るスケート」は、爆発的な人気に。ワーグナーが《パルジファル》を初演した1882年には、ウィーンで世界初のスケートの国際競技会が行われます。内容は、テクニックを競うコンパルソリーと芸術性を競うフリースケーティング(FS)の2本立て。フィギュアスケートの歴史は実際に、音楽の都ではじまったわけです。

いまでは、「今シーズン、各選手がどのような音楽を使用するか」はファンの楽しみのひとつ。人気曲「トゥーランドット」やラフマニノフ「ピアノ協奏曲第2番」の登場には胸が高鳴るし、10月にスタートした今季グランプリシリーズでも、羽生結弦選手のショパン「バラード第1番」や宇野昌磨選手のヴァイヴァルディ「四季」、宮原知子選手の「蝶々夫人」などが注目を集めています。

2014-15シーズンからは歌詞入りの曲の使用も許可され、これをきっかけにポップスを使うスケーターが急増したとか。しかし、フィギュアスケートのはじまりが19世紀ウィーンのヒットチューン(=ウィーンワルツ)だったことを考えれば、それは原点回帰と言えるのかもしれませんが。スケート・リンクからも、音楽の変遷が見えてくる——そう、クラシック音楽はいつも、私たちのすぐそばにあるのです。



ジャクソン・ヘインズ

クラシカロイド・オン・アイス

¥2,750+税(2枚組) / WPCS-13731 / ワナーミュージック・ジャパン

「バラード第1番」に「愛の夢」、そして「トゥーランドット」。
高野麻衣さんが氷上の名演を生んだ音楽を解説する、スケート・クラシック集。
人気アニメ「クラシカロイド」とのスペシャル・コラボレーション!



情報誌 MNEWS 読者アンケート応募はがき

三重県総合文化センター情報誌 MNEWS についてお尋ねします。

1. 「MNEWS」を読むのは? 初めて 時々 毎月
2. どこで入手されましたか?
 三重県総合文化センター館内 新聞折込 県庁・市町役場
 図書館 公共施設 ダイレクトメール
 ぴあスポット・チケット販売所 ショッピングセンター
 県内・そうぶん周辺のお店 病院・歯科医院 映画館
 その他 ()
3. おもしろかった記事、興味を持たれた記事は何ですか?(複数回答可)
 表紙 巻頭特集 イベントインフォメーション
 主催事業ピックアップ ぐるりとなりのカルチャー
 カルレク!気軽に楽しむ文化のレクチャー
 ワンコインコンサート情報 チケット発売日情報
 法人協賛会員様広告
4. 内容について 満足 ほぼ満足 やや不満 不満
5. 見やすさについて 満足 ほぼ満足 やや不満 不満
6. その他お気づきの点、ご要望などをおきかせください。

7. プレゼントの希望番号 ()
① 上岡敏之指揮 新日本フィルハーモニー交響楽団コンサートチケット
② 人形浄瑠璃 文楽夜の部「曾根崎心中」チケット
③ 久石譲サイン入りCD「Minima_Rhythm III」
④ アートショップMikke 人気グッズセット
- ご協力ありがとうございました。

※ご記入いただいた個人情報は、プレゼントの発送とアンケート集計分析にのみ使用します。また、個人情報保護法に基づき適切に管理いたします。

もし、MNEWSの表紙になったら...

フォトコンテスト

テーマ
YOUは何しに
そうぶんへ?



みなさんにとって「そうぶん」はどんな場所ですか? コンクールで緊張した、ライブで盛り上がった、図書館に毎週通っている。特別な一日だったり、日常の何気ないひと時を過ごしていたり、みなさんにとっての三重県総合文化センターを、写真と一言コメントで表現してください。優秀作品はMNEWS表紙をオリジナルデザインにしてプレゼントさせていただきます!

応募期間	12月1日(金)~1月21日(日)(必着)
入選作品展示	3月9日(金)~3月31日(土) 三重県総合文化センターエントランス上の渡り廊下
審査	三重県総合文化センター職員で審査させていただきます。
賞品	優秀作品:5作品 「あなただけの」オリジナルMNEWS表紙と そうぶん内RIZCAFEで使える東洋軒お食事券(3,000円) 入選作品:Mikkeグッズをプレゼント!
撮影場所	三重県総合文化センター内に限ります。

応募方法

スマホで撮ってそのまま投稿!

専用応募フォームから、写真と一言コメント、写真を撮った時のエピソードを添えて、必要事項を記入の上ご応募ください。



専用応募フォーム

https://www.center-mie.or.jp/mnews/mnews_photo

※郵送・持ち込みでは受け付けできません。※写真は、1~5メガバイト以内のサイズ(大きなデータや、印刷に適さない小さなデータは不可とします)※写真に配置する一言コメント等の表紙デザインは、事務局で行います。※表紙デザインの過程で写真をトリミングする場合があります。※なるべく縦長の写真でご応募ください。※応募者本人が撮影した未発表の作品に限ります。※1人3点までご応募いただけます。※作品はカラー、モノクロどちらでも可能です。※応募テーマから外れるものは失格となります。※被写体についての肖像権その他の権利は、応募者の責任において処理した上でご応募ください。※応募者の個人情報は、本コンテストの目的以外には使用いたしません。作品発表の際、名前(ニックネーム可)・年代・お住まいの市町を表示する場合があります。※優秀作品、入選作品は三重県総合文化センター内で展示、優秀作品はMNEWS紙面でもご紹介させていただきます。



5 1 4 8 7 9 0

料金受取人払郵便

津中央局 承認 2277

三重県津市一身田上津部田1234

三重県総合文化センター 総務部 企画広報係 行

差出有効期間 平成30年3月31日 まで(切手不要)



ご住所 〒

お名前

性別

ご年齢 ○をつけてください

~10代・20代・30代・40代・50代・60代・70代~

✕キリトリ

アンケートにご協力いただいた方の中から抽選でプレゼント!

左記のアンケートはがきにご記入のうえ、切り取ってお送りください。ご協力いただいた方から抽選で、下記から1種類を合計16名様にプレゼントいたします。
※当選の発表は発送をもってかえさせていただきます。

上岡敏之指揮 新日本フィルハーモニー交響楽団

S席 ペア2組様

2018. 3/11 [日] 16:00開演(15:30開場)

大ホール



1

人形浄瑠璃 文楽夜の部「曾根崎心中」

S席 ペア2組様

2018. 3/21 [水・祝] 18:00開演(17:30開場)

中ホール



2

久石譲サイン入りCD 「Minima_Rhythm III」

2名様

11月25日 新日本フィルハーモニー交響楽団特別演奏会で指揮をされた久石譲さんのサイン入りアルバム



3

アートショップMikke 人気グッズ詰め合わせ

10名様



Mikke



4

スマートフォン・パソコンからもご応募いただけます。

右のQRコードを読み取るか、下記URLを直接入力いただき、スマートフォン・パソコン・タブレット端末からご応募ください。

https://www.center-mie.or.jp/mnews/inquiry120.html



※ご記入いただいた個人情報は、プレゼントの発送とアンケート集計分析にのみ使用させていただきます。また、個人情報保護法に基づき適切に管理いたします。



三重県総合博物館 (MieMu:みえむ)

津市一身田上津部田3060 TEL059-228-2283 FAX059-229-8310
開場時間:平日 9時~17時、土・日・祝日 9時~19時(最終入場は、閉場30分前まで)
休館日:毎週月曜日(祝日の場合は、翌平日)、年末年始(12/29~1/3)

【トピック展】くらしの道具〜いま・むかし〜

期間:2018年1月4日(木)~2月16日(金)
観覧料:無料
主催:三重県総合博物館

昨年度の「くらしの道具〜いま・むかし〜」展示の様子



くらしの道具のなかには、いままでは使われない懐かしいものもあります。長く丁寧に扱われてきた道具からは、ものを大切に作る心や、ものに込められた知恵や工夫が見てとれます。社会科で「昔の道具」を学習する小学生も、理解を深められる展示会です。

三重県立美術館

津市大谷町11 TEL059-227-2100 FAX059-223-0570
開館時間:9時30分~17時(入館は、16時30分まで)
休館日:毎週月曜日(祝日の場合は、翌平日)

モダニストの日本美 -石元泰博「桂」の系譜

会期:2018年1月4日(木)~3月4日(日)
観覧料:一般900(700)円、学生700(500)円、高校生以下無料
※()は前売り及び20名以上の団体割引料金

アメリカ生まれの写真家、石元泰博(いしもと・やすひろ 1921-2012)の代表作「桂離宮」のシリーズは、近代の視点で日本の古建築を捉えた現代写真の金字塔とされています。日本の伝統的なもののなかに最先端のモダンな美を見出す。こうした視点は実は昭和初期からありました。西欧のモダニズム建築が日本に知られ始めた時、それが日本の古建築に似ていると考えられました。また、ドイツ近代の代表的な建築家ブルーノ・タウトが来日して桂離宮を賞賛したことはよく知られています。先鋭的なアーティストたちは日本の伝統芸術に新しい美を見出し、自らの制作を行いました。

この展示会では、近年、世界各地を巡回した石元泰博の「桂離宮」のシリーズ50点とともに、日本のなものとモダニズムとの間に親近性を見出した芸術家たち、三岸好太郎、長谷川三郎、ブルーノ・タウト、イサム・ノグチらの作品や多くの資料によって「モダニストの日本美」の系譜をたどります。



三重県立図書館

津市一身田上津部田1234(三重県総合文化センター内)
TEL059-233-1180 FAX059-233-1190 開館時間:9時~19時
休館日:毎週月曜日(祝日の場合は、その翌平日)、月末(土日祝日の場合は、その直前の平日)

展示コーナーにご注目!

三重県立図書館では、総合博物館や美術館で開催される企画展、総合文化センター内での催しに関連した展示を行っています。セミナー講師の著書や催しに関連した本、催しの概要が分かるパネル等を展示し、パンフレット類を配布しています。もちろん展示している本は借りていただくことができます。

催しに行く前の予習に、催しに行った後知識を深めるための復習に、ぜひ展示コーナーをご活用ください。催しに行く予定のない方も、展示コーナーを見れば県文化施設や総合文化センターの催しで、「行きたい!」と思うものを見つけることができるかもしれません。

展示の状況は三重県立図書館ホームページやTwitterからご確認いただけます。

Twitter #みえりぶ展示 で検索!

●蔵書点検のお知らせ 2018年2月13日(火)~21日(水)は、蔵書点検のため休館します。皆様にはご迷惑をおかけしますが、ご理解をよろしく願っています。



事業協賛会員: 公益財団法人岡田文化財団、百五銀行、第三銀行グループ、三重県協同組合連絡協議会

一般協賛会員: 株式会社モクモク手づくりファーム、三重県舞台管理事業協同組合、カヤバシステムマシナリー株式会社、住友電装、国際警備保障株式会社、NEC、三重テレビ放送、三重電業株式会社、チカワ

岩間造園株式会社、株式会社東洋軒、学校法人 皇學館、三重県職員信用組合、GE 学研エデュケーション、ホテルザ・グランコート津西、アスカFM、ラジオキューブFM三重、株式会社光機械製作所

三重県信用保証協会、鈴鹿医療科学大学、株式会社野田米菓、株式会社ダイケンビルサービス、井村屋グループ株式会社、株式会社日皓ハイウエー、伊藤印刷株式会社、朝日屋

岩間造園株式会社、株式会社東洋軒、学校法人 皇學館、三重県職員信用組合、GE 学研エデュケーション、ホテルザ・グランコート津西、アスカFM、ラジオキューブFM三重、株式会社光機械製作所

Cotti菜、株式会社鈴工、中外医薬、東海晋商事、東亜電産株式会社、ヤマハサウンドシステム株式会社、社会福祉法人 洗心福祉会、津健康クリニック、赤塚植物園グループ



- 交通のご案内 近鉄・JR線、伊勢鉄道「津駅」より徒歩約25分
鉄道 近鉄名古屋線・JR紀勢本線・伊勢鉄道「津駅」下車
バス 三重交通路線バス「津駅西口」から約5分
タクシー 近鉄名古屋線・JR紀勢本線・伊勢鉄道「津駅西口」から約5分
自家用車 伊勢自動車道芸濃インターから約15分、津インターから約10分
※名古屋から約1時間、大阪から約1時間40分
※無料駐車場(約1,400台)があります。催しが多く開催される日は大変混み合いますので、できる限り公共交通機関をご利用ください。
- 開館時間のご案内 9:00~19:00(貸館等で使用する場合を除く)
※チケットカウンター、アートショップMikke(みっけ)、レストランRIZ CAFEは10:00~19:00、カフェコーナーは8:50~18:30、カフェレストランCotti菜(こっちな)は9:00~17:00

- 休館日のご案内 毎週月曜日(その日が祝日の場合は、その翌日以降の最初の平日)
12月29日~1月3日、県立図書館のみ月末日及び特別整理期間も休館
県立図書館 TEL059-233-1180 http://www.library.pref.mie.lg.jp/
- 県立図書館休館日カレンダー(■は休館日)

1月							2月							3月							
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
	1	2	3	4	5	6				1	2	3							1	2	3
7	8	9	10	11	12	13	4	5	6	7	8	9	10	4	5	6	7	8	9	10	
14	15	16	17	18	19	20	11	12	13	14	15	16	17	11	12	13	14	15	16	17	
21	22	23	24	25	26	27	18	19	20	21	22	23	24	18	19	20	21	22	23	24	
28	29	30	31				25	26	27	28				25	26	27	28	29	30	31	

※2月13日~21日は特別整理期間

三重県総合文化センター情報誌 (エムニュース) Vol.120号 発行/平成29年12月(季刊)
発行元/(公財)三重県文化振興事業団
やむを得ない事情により出演者等の事業内容が変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。
●WEBサイト www.center-mie.or.jp/ はこちらからご覧いただけます。

MIE CENTER FOR THE ARTS 三重県総合文化センター 〒514-0061 三重県津市一身田上津部田1234 ☎059-233-1105 FAX059-233-1106
三重県総合文化センターは、文化会館・生涯学習センター・男女共同参画センター「フレんてみえ」・県立図書館・放送大学三重学習センターから構成される複合文化施設です。

エムニュースは次の場所で入手可能です。三重県総合文化センター館内、三重県庁・市町役場・市町図書館、三重県内公共文化施設、ひあスポ・チケット発売所、三重県内道の駅、三重県内病院・歯科医院、三重県総合文化センター周辺のお店、ショッピングセンターなど。また、三重県文化会館シアターメイツ会員には無料で送付しております。詳しくはシアターメイツ事務局まで(059-233-1116) 上記以外にも、多数の企業・団体・公共施設の皆様に配布のご協力をいただいております。